

DV防止啓発講座
「あなたの力が子どもたちを救う」を開催しました



講師
並木利美子さん



令和2年1月23日(木)に、並木利美子さん(元八潮市教育委員、八潮市家庭児童相談員、他)を講師にお迎えし、「吉川市DV防止地域サポーター※養成講座」を開催しました。

講師の並木さん自身の、子ども時代の両親間のDVの経験などを描いた自作漫画を教材に、子どもの周りにはいる人たちの温かい見守りの目が、その子にとって将来の糧となるなど、支援の大切さについてお話ししていただきました。

※吉川市DV防止地域サポーターとは

DVとは重大な人権侵害であることや相談窓口の紹介などを地域の中で情報発信をしていただくもので、支援の輪が広がることで社会からDVを根絶する一歩となります。



吉川市DV相談窓口「吉川市配偶者暴力相談支援センター」を知っていますか

DV(ドメスティックバイオレンス…配偶者・恋人など親密な間柄で行われる暴力行為)は、犯罪行為をも含む重大な人権侵害です。

吉川市では、「吉川市配偶者暴力相談支援センター」を開設し、DV被害者の支援にあたっています。一人で悩まずに、まずはご相談ください。



面接相談／電話相談
【秘密厳守・相談無料】

設置場所：吉川市役所 市民参加推進課内

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

月・水・金曜日は専門の婦人相談員を配置

専用電話：048-982-5968

～性の多様性理解～

すべての人が自分らしく生きるために



性のあり方は多様であり、「LGBT※」の他、自分の性や好きになる性が定まっていない「Questioning(クエスチョニング)」など、性は一人ひとりが異なります。

性のあり方について偏見や誤解を持っていないか、先入観に基づいた言動をしていないか、自分自身を見つめなおしてみませんか。

※LGBT…レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーを指す。性的少数者一般を表すために使用されることも。

- ✓ 言葉づかいを見直し、性別に関わらない表現にしよう
例 ×彼氏・彼女→○恋人、パートナー
×男らしく・女らしく→○～さんらしく
- ✓ LGBT等の当事者が不快に思う言葉は、率先して止めよう
例 ×ホモ・おかま、レズ・おなべ、オネエ
あっち・そっち

発行 吉川市 | 2020年3月発行

お問合せ 吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当
〒342-8501 吉川市きよみ野 1-1 電話:048-982-9685 FAX:048-981-5392
メール:shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp



国際的な視野で考える

Vol. 4

～すべての男女が自分らしく生きることのできるまちをめざして～

2020年3月発行

男女共同参画は、全ての人に、そして、仕事、家庭、地域生活などのあらゆる場面に関わっています。吉川市男女共同参画啓発紙では、すべての男女が自分らしく生きることのできるまちをめざし、様々なテーマを取り上げて情報発信していきます。今回のテーマは「国際的な視野で考える男女共同参画」です。



イベント「男女活躍・国際交流ワールドカフェ」
外国の方を交え「ワールドカフェ」方式のグループトーク
(2019年12月22日(日)、市民交流センターおあしす多目的ホール)

特集 | イベント「男女活躍・国際交流ワールドカフェ」

仕事や家事、子育て、地域活動などへの関わりにおいて、性別にとらわれることなく、誰もが活躍できるにはどうしたら良いでしょうか。

イベント「男女活躍・国際交流ワールドカフェ」※では、パネルディスカッションと、ワールドカフェ方式のグループトークにより、市内在住の外国の方々と共に、様々な国の文化を学び合い、男女平等などの考え方の違いを学びました。

男女格差の指数で日本は…

ジェンダーギャップ指数とは、各国の男女格差を測る指数であり、経済、教育、保健、政治の4分野の指標から構成され、グローバルかつ地域的な経済問題に取り組むために設立された国際機関「世界経済フォーラム」が算定しています。

2019年12月には2019年版のジェンダーギャップ指数が発表され、日本の順位は153か国中121位でした。日本の順位が低いのは、会社等の管理職や国会議員・閣僚に女性が少ないなど、経済分野と政治分野で、男女格差が大きいからです。

ジェンダーギャップ指数(2019年版)の結果

順位	国名
1位	アイスランド
2位	ノルウェー
3位	スウェーデン
：	：
121位	日本
：	：

日本の分野別の順位	
分野	順位
経済	115位
教育	91位
保健	40位
政治	144位

※主催、協力：吉川市国際友好協会、よしかわ子育てネットワーク、ヒッポファミリークラブ、あとりえココロ、キタノ商事様により実施

「多様性」を認め合うまちに向けて

イベント終了後に、パネリストと座談会を行いました



パネルディスカッションでは、外国出身の方と配偶者が外国籍の方を迎え、日本と外国の男女活躍の状況などについて語り合っていました。

世界の様々な価値観を知り、日本の良さや、変えるべきところなどを考える中で、性別を超えて一人ひとりの「多様性」を認め合い、また、異なる文化を認め合う「多文化共生」となるまちへ向けて、スタートを切ることができたのではないのでしょうか。

それでは、パネリストの皆さんが語ってくれた各国の状況や日本で感じたことをご紹介します。

吉川市長 中原恵人



テーマ ■ 仕事・ワークライフバランス、家事・子育て ★ 地域課題への市民参加

【司会進行】
浅野 富美枝 氏

吉川市在住。宮城学院女子大学大学院講師。男女共同参画に関する有識者として吉川市男女共同参画審議会など各種委員を務める。



- ベトナムでは女性が働くのは当たり前で、賃金に男女格差がなく、実力がある人が出世できます。日本では、女性の賃金が男性に比べて安いと思いました。
- ベトナムでは屋台で食事をすることが日常的であり、屋台のおかげで家事負担は軽減されています。
- 日本では男性は仕事が忙しすぎて、子育てに参加したくてもできないのでは。
- ★ 日本では市民が行政に意見を言ったり、行政と市民と協働での取組を行ったりすることがとても多いですね。行政と市民お互いが信頼し合っているからだと感じます。

ジェンダーギャップ指数 ベトナム 87位 / 153か国

- フィリピンでは、仕事でも家庭でも男女がほぼ平等で、男女ともに家事・育児に関わるのが当たり前で、問題に感じたことがありません。欧米の教育やキリスト教の教えが影響しているためだと思います。
- ニュースによれば会社の女性管理職は、ほぼ50%だそうです。
- フィリピンにはパートタイムの仕事は少なく、ほとんどフルタイムの仕事で、女性も仕事をするのが当たり前。日本のように保育園が多くなく、フィリピンの子育て中の共働き世帯では、お手伝いさんを雇って子どもをみてもらうのが一般的です。

ジェンダーギャップ指数 フィリピン 16位 / 153か国

【パネリスト】



ベトナム出身
青山 凜さん

【パネリスト】



フィリピン出身
村田 クリスティーさん

- オーストラリアでは20歳くらいで親元から自立して生活することが多く、男女共に生活能力が備わります。
- オーストラリアでは転職してステップアップしていくことはよくあることで、女性が育児を終えた後に正規の仕事を探すことも日本ほど難しくないと感じます。
- 日本の保育園のシステムは、先生1人あたりの子どもの人数が決まっていたりと、大変優れていると思います。先生も、色々な年代の方が子どもに関わってくれて、子どもにとって良いことだと思います。

ジェンダーギャップ指数 オーストラリア 44位 / 153か国

- スロバキアでは、母親の育児休業を最長3年間まで国が法的に認めているため、育児休業することについて会社による格差がありません。また通常、復職時には復職前のポジションに戻って働けます。
- 残業がないことが一般的で、生活とのバランスが確保され、男女共に子育てに関われる環境が整っています。
- ★ 日本では、人権問題などといった社会問題の解決に向けた会議やイベントの開催など、取組が積極的で前向きだと感じています。

ジェンダーギャップ指数 スロバキア 63位 / 153か国

- 出産と家族の介護が重なったこと、夫の仕事が長時間労働だったこともあり、結果的に夫が仕事、妻が専業主婦の期間が続きましたが、現在は仕事を持ち、出張で家を空けることもあります。夫は、女性が働くことについて当然の認識が文化的にあるので私が不在の期間は家のことは家族に任せるようにしています。
- ★ 出産後、子育てなどに追われ社会貢献できていないと感じていましたが、子育てが落ち着き、現在は、仕事・地域活動を通し、社会貢献できていると実感しています。
- ★ 地域活動では吉川市国際友好協会に所属し、小中学校での日本語学習支援などを行っています。当団体は会長が女性であり、男女共に活発に活動しています。

ジェンダーギャップ指数 アメリカ 53位 / 153か国

【パネリスト】



オーストラリア出身
エディ・パーマーさん

【パネリスト】



スロバキア出身
カタリーナ・ティドロヴァさん

【パネリスト】



配偶者が
アメリカ国籍
郭 育子さん

ワールドカフェ方式のグループトークで交流！

テーブルごとに外国の方などを交え、「男女がともに活躍するためには？」について意見交換をしました。どのテーブルも、お茶を飲みながら、お菓子を食べながら、「カフェ」感覚で和やかに話し合い、「さまざまな視点での感じ方、意見を聞くことができて良かった」、「もっと交流したかった！」との声が聞かれました。

外国の意見

日本はとても暮らしやすい

日本人には「本音」と「たてまえ」があってよく分からない...

日本人は残業しすぎ



日本の意見

生活や仕事のこと、外国と日本でずいぶん違うんだなあ...

働いていると、地域活動に参加できないのが悩み

残業代がないと収入が足りない...